



佐々木 僚平 議員

一括質問方式

市民・患者が安心できる県立総合病院へ 市長……今後も県立遠野病院との連携を行う

問……………

県立遠野病院の労働環境の実態についてどう捉えているか。

答(市長)……………

県立遠野病院が働き方改革の一つとして「外来と病棟看護の一元化」に取り組んでいること、また「県立遠野病院の看護師離職相次ぐ」といった内容の報道が出されたことは、認識している。こ

のような状況を鑑みると、現在の県立遠野病院は「働き方改革」の実行にあつたての過渡期にあるものと認識している。

問……………

市内唯一の県立病院が市民にとって安心できる病院になるための取り組みは。

答(市長)……………

市は、県立遠野病院における医師確保、医

療技術の向上等を図るため、医療環境の整備に関する事業経費の支援を行っている。今後においても、県立遠野病院と連携し、医師確保・定住に取り組んでいく。

問……………

市民の不安払拭のための周知徹底の必要性は。

答(市長)……………

県立病院では院長を



働き方改善が求められる「岩手県立遠野病院」

補聴器の公的補助について

市長……「遠野市補聴器給付事業」を継続していく

問……………

補聴器普及の対策については。

答(市長)……………

聴覚障がい者に該当せず、法制度による補聴器の給付が受けられない「軽度の難聴」の方を支援するため、本市の独自事業である「遠野市補聴器給付事業」を継続し、「軽度難聴」の方の日常生活の援助に努め、福祉の増進を図ってまいります。



小林 立栄 議員

一括質問方式

その他の質問

- ICT (情報通信技術) 利活用の推進を



「手話は言語(言葉)」社会全体で理解・認識し合う必要があります。

手話言語条例の制定を

市長……急がなければならないと認識している

問……………

手話は、手や指、体などの動きや顔の表情を使う、独自の語彙や文法体系をもつ言語。「手話は言語である」と基本理念を掲げ、手話が必要とする人が手話を使って暮らし、ろう者と聴者が共に生きる地域づくりを推進するため、その基本となる手話言語条例を制定するべきと考えるが。

答(市長)……………

聴覚障がい者の自立と社会参加の実現を目指すことを目的とする「全国手話言語市区長会」へ入会した。聴覚障がい者や支援者など、市民や関係者の意見を伺いながら検討したい。

問……………

手話や手話言語条例を、共に学び検討する体制を整備して、制定に向け取り組むべきでは。

読書活動のさらなる推進を

教育長……読書意欲の向上と利用促進を図る

問……………

行政と多くのボランティアが連携した読書活動の取り組みを評価している。企業や事業者と連携した※1読書通帳・※2書籍消毒機の導入、※3ビブリオバトルの開催、※4レファレンスサービスの周知と利用促進で、さらなる充実を図っては。

答(教育長)……………

読書通帳・書籍消毒器については、他市の導入の経緯、導入後の読書活動の推進や利用促進の状況、効果や有効性を調査・検証し、企業や民間との連携も視野に対応したい。またビブリオバトルを含め、読書会やブックトーク等の実施を通し

て、読書意欲を高める取り組みも進めていく。レファレンスサービスの利用については、窓口への掲示やホームページへの掲載等を行い、より一層利用者への周知を図りながら、利用状況に応じた体制づくりに努める。

※1 読書通帳とは
図書の出履歴を記録しておく手帳の総称。自書タイプ、お薬手帳タイプ、預金通帳タイプがある。

※2 書籍消毒機とは
紫外線や送風で書籍を殺菌消毒する機械。

※3 ビブリオバトルとは
お薦めの一冊を持ち寄り、ルールに従って魅力を紹介し合い、多数決で読みたくなった一番の本を決定する知的書評合戦。

※4 レファレンスサービスとは
図書館が行なうサービスの一つで、利用者の問い合わせに応じ、図書の紹介や検索をする業務。